東由利村報

No. 150　1970・1・1

発行　秋田県東由利村役場　印刷　KK本間印刷所

毎月1日発行（1部8円）　昭和42年7月21日第三種郵便物認可

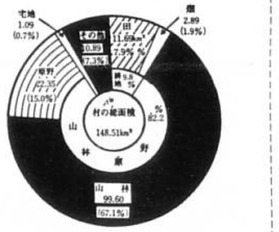
世帯と人口

世帯数	1,592世帯
人口	7,470人
男	3,673人
女	3,797人

前月に比し世帯は4の減
人口は16の減

財政

一般会計	331,434千円
特別会計・	58,876千円
内訳 国保	56,455千円
内訳 黒診	799千円
内訳 簡水	939千円
内訳 玉財	683千円



□年頭あいさつ□

村民は家族も同然

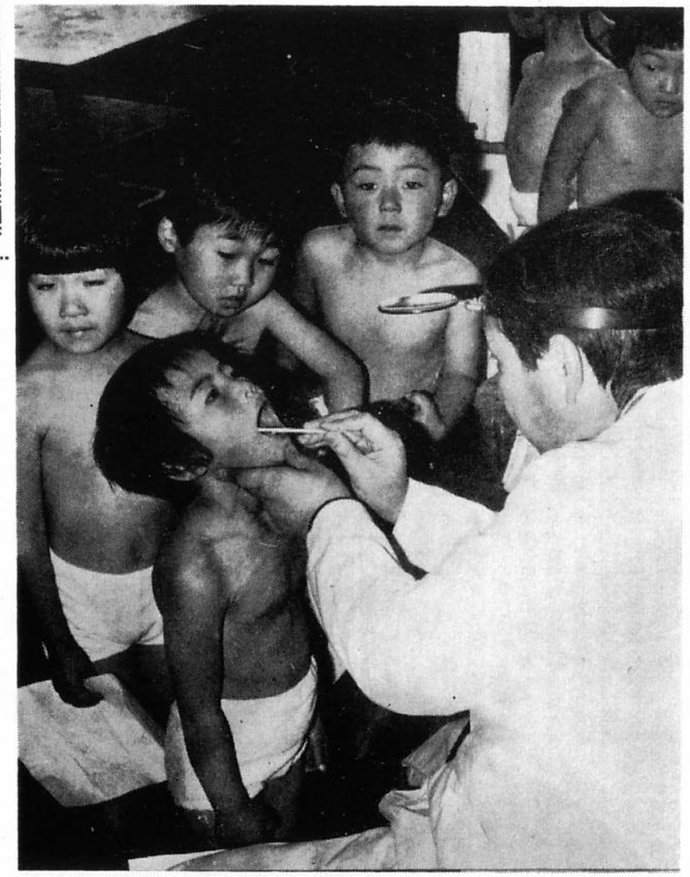
議会議長　長沢　毅

皆さん、新年おめでとうございます。新春を迎えて私たちは心を新たにして、これから私たちに厳しくのしかかってくる、大きな現実に対決しなければなりません。それは本県、また本村にとって一番重大な、米価すえ置きの決定、また古米対策としての一割減反ということが、それです。

需要と供給、これは経済の原則であり、生産量が消費を上まわれば値下りは避け難い、古来からの鉄則です。われわれは政府に対して総合農政の中で、流通機構に対して、思いきった施策を要求するとともに、これに対応する、生産コストのダウンのために力をつくさなければならないと思います。

そのためには農業構造改善は必至の手段です。願わくば農民の皆さまは勇気を持って、これに打ち勝ってください。

また、国県道はもちろん村道の拡幅整備を急いで、作業の能率化をはかり、僻地という悪条件を解消しましょう。このためには、宅地、耕地が、つぶされるという犠牲者が出ます。この人たちには非常に気の毒なことですが、将来の村の発展のことを考えて、自己的な考えから大飛躍いたしまして、村民のすべてが、自分の家内であるという、大きな愛の気持ちで一日も早く、このような事業が進められるよう、ご協力を願いたいものです。



アメ代にも……今は昔

改善された国民年金

保険料は一律四五〇円

たしか、めいどの旅の一里塚、めでたくもあり、めでたくもなし、というのがあった。新年を祝う心のなかには、まさにこんな感慨もあろう。

さて、将来の生活設計を考えるとき忘れることのできない国民年金は、暮れの解散国会で、どのように改善されたかを知ることも、元旦の計ではあるまいか。

国民年金は昭和34年4月16日に公布されたのであり、満一〇歳をかぞえたことになる。

国民年金は被保険者が保険料を納め、国が応分の負担をして年金を支給する建前の制度であるが、人間の長い一生の間には、保険料を負担できない格別の事情に置かれる場合も予想して、その場合でも納めた保険料は無効にならず、また国税を財源にして年金を支給するという、補完的な面を加えて、本来のものを拠出制。補完的あるいは経過的なものを無拠出制とし、無拠出制には老齢福祉年金、障害福祉年金・母子福祉年金というように「福祉年金」の呼び名をいれて区別している。

保険料納付が始まったのは昭和36年4月からであり、45年度一年を暮らせば、受給資格期間の最短距離である10年を納め終え、拠出年金による老齢年金受給者の第一号が誕生することとなる。

この制度が発足した当初には、給付額が低すぎるなどの不満があり、あまりパッとしなかったが、改善につぐ改善のかいあって、今や老後・障害時・母子家庭・みなし児となって収入の途が絶えたときの生計の支柱として期待されるにいたった。

年金額に個人差

暮れの解散国会で成立した国民年金の改善は、その大部分が、ことしの7月1日から効力を現わすこととなり、例えば本村内の拠出制の受給者である二三世帯の母子家庭には、いまの年額六万円から九万六千円の母子年金というように。また一六人の障害者には一級で、いまの年額七万二千円からいっきょに十二万円の高い障害年金を、という改善が行なわれる。

まず老齢年金は、保険料25年納付の場合、いまの年額六万円から九万六千円になる。

国民年金では二〇歳から六〇歳までの四〇年間が被保険者期間とされているが、制度開始時に、すでに二〇歳をこえた人は当然四〇年の被保険者期間がないことになる。また、保険料を納める能力がない人には保険料の免除を与えるなど、直接の羽後バスをあっせんします。8日午後から出発させます。希望する方は5日まで役場の厚生係へ連絡してください。なお村報だけは三人に一部といわず希望者には全員に送ります。連絡してください。

□今月の納期□
村県民税
健康保険税　四期分

高齢者にまた好機

このほか制度が発足した当時、五〇歳をこえ五五歳未満の年齢層の人びとをお客さま扱いにし、六五歳の支給開始年齢までに最短10年の納付期間が持てるよう特例的な途を開き、任意加入をすすめたのだが、当時のPR不足が災いして締め切り後に、ようやく有利さに気づくという状態であった。この人たちに再びチャンスをというのであり、現在五八歳から六三歳までが対象であり6月30には締め切られる。保険料は月々七五〇円納付期間は五年の短期コースである。

くわしいことは役場の住民課国民年金係へどうぞ。

小松村長

昭和四十五年の元旦は、大いなる時代の夜明けであります。私たちは、七〇年代には、数々の進歩と、改革に直面することになりましょう。そのためには、困難と苦悩をとおりぬけねばなりません。米の問題にしても然りで、これで、米が農村が、後退するのではありません。伸長のための屈身であり、試練の関門であります。一割減反をどうするかが、当面の問題でありますが、農業の構造的解決のためには、数多くの問題が、今後提起されるでありましょう。総合農政は、政府の施策待ち、というところですが、本年はこれに対する村の姿勢が要請される年であります。

□一九七〇年を迎えて□

大いなる夜明け

村長　小松栄男

昨年十二月二日、全国山村振興連盟の総会の席上、福田大蔵大臣が「日本の経済は、現在の伸びからすれば、五年で倍増する。それではさらにヒズミが大きくなるので、五年のものを、八年、九年とかけて、調和のとれた成長をはかるのが七〇年代の政治の課題である」と言っていましたが、まことに然りであって、急激な経済成長による、カゲリの濃い農山村にあっては産業の面、地域の面で均衡ある成長を配慮した、政治を望む念や切なるものがあるわけであります。

昭和四十六年度に本村は山村振興村の指定を受ける予定であり、四年の事業期間中、本村懸案の事業を処理して行きたいと思っております。本年は林構事業の第二年目、統合中学校の第二期工事などがありますが、

ここに行政上、新しい課題が出てまいりました。それは由利本荘地域の、広域市町村圏ということであります。このように、交通の発達した時代となれば、一つ一つの市町村にとらわれないで、道路・消防救急・医療・教育・福祉・産業などの問題を、広域的に解決をしようというのであります。

して、すでに雄勝湯沢地域が指定を受けていることは皆さまご承知のとおりであります。本郡においても近々実現を見ることとなりましょう。

七〇年代は、世界的にも郷土にとっても、大いなる時代となります。大いなる時代には、大いなる希望と新たな勇気が必要です。私は、大いなる希望と、新たな勇気をもって諸問題と取り組み、豊かな郷土づくりに、一層の努力をいたす念願であります。

年頭にあたり、皆さまのご健勝を寿ぎ、併せて、村政へのご支援をお願い申し上げまして新春のごあいさつといたします。

◇　◇

年金額は軒なみ増

身体が不自由なため働らけなくなった人に支給する障害年金は、一級障害ではいまの年額七万二千円から十二万円に、二級障害では六万円から九万六千円にそれぞれ引上がる。

また一八歳未満の子どもをかかえ夫と死別した母子家庭には、子一人母一人に対し、いまの年額五万五千二百円から九万一千二百円に引上がる

なお二人目の子どもから、子どもの数が一人増すごとに四千八百円ずつ加算されるのは従来と変らない。準母子年金、遺児年金の額も母子年金と同額に引上った。

サイフにも手応え

このように給付の面を改善してゆくと、いきおいサイフも大きくならざるをえない。

給付財源は、納められた保険料と、この額の五〇%を国庫負担でまかなわれることとなる。これまでは三五歳を境にして、月二五〇円、三五〇円と区別した保険料を納めていたが、こんどはこの年齢区分を廃止して一律四五〇円を納めることとなる。

なお、月々四五〇円の定額保険料のみの納付では、老齢年金などの給付額は、ある一定限の額に止まるので、より多くの年金を受けたい人のために、さらに月々三五〇円の上積み保険料を納めてもらう制度が新しく設けられた。これが、所得比例分保険料と言われるものであり、希望者には申出を呼びかけているものである。

佐藤委員長

明けましておめでとうございます。

いよいよ一九七〇年代の幕あけを迎えることになりました。わが国内外の諸情勢は、まことに激動的であり、幾多の重要難問題が山積しております。沖縄問題、安保問題、総合農政問題、過密過疎問題

物価問題等々、数限りもありません。これらの問題に対処し、いかに方向づけ、いかに解決すべきかが、本年の重要課題となることと思われます

教育においても、大学問題を主軸として、教育制度全般の検討、教育内容の改訂などが、大きくとりあげられることと思います。私どもは、この重要課題の山積する年代に処し、教育公務員としての自覚のもと、良識ある行動により、子どもの幸福のため、真剣に努力する覚悟を一層あらたにすることが、肝要と思われます。

□新年にあたり□

課題が山積する年代

教育委員長　佐藤松之助

統合中学校校舎の新築第一期の大工事が完成に近づき、その偉容を台山にあらわしております。本年度は第二期工事を実施することになりますが、できるだけ早く着工できることを、念願しております。本年度は第二期工事を実施することになりますが、できるだけ早く着工できることを、念願しております。そして実質統合が予定どおり実施できることを期待しております。本年度は、その準備態勢を整える、

出かせぎの方がたへ

ことしも出かせぎの方々へ郷土の香り〝秋田さきがけ新報〟と村報を送ります。昨年までは役場で勤務先を調べて送りましたが、調べもれがあり不便をかけており、ことしは皆さんの申出により送ることにしました。三人以上の職場では代表者の氏名と住所を連絡してください。

▼正月にわが家へ帰り、再び就労される方々の便利になれば、直通の羽後バスをあっせんします。8日午後から出発させます。希望する方は5日まで役場の厚生係へ連絡してください。なお村報だけは三人に一部といわず希望者には全員に送ります。連絡してください。

▽新しい芽たち△

45年度の新入学児童の適性診断は、12月2日から5日まで村内七つの小学校ごとに行なわれた。対象児童は村全域で一〇八人。これを学校ごとに見ると、住吉二三、玉米一五、袖山二、老方二五、蔵一四、法内一一、宿一八というところ。

ふと、この新しい芽たちが社会の担い手となった時代に想いは飛躍する。

【写真、5日老方小にて】

各会場では、おとうさんおかあさんに手をひかれた子どもたちが、お医者さんから健康診断をしてもらったり、先生たちから知能テストや体重測定を受けたりのテンテコ舞い。

テレビの影響からかこのごろの子どもたちはグッとおとなびた感じ、というのが先生たちの弁。

昭和42年7月21日第3種郵便物認可

東由利村報

昭和45年1月1日　第150号

昭和45年の課題を考える・議員欄

70年代という言葉の中には民族の、限りない繁栄への希望がこめられている。反面、これを達成するためには、解決を迫られる課題もまた少なくはない。そこで議員の諸氏に、〝まず、ことしの課題は何か〟を寄せてもらった。　掲載順位は抽せんによった。

プールに支援を

高橋　俊一

新年おめでとうございます。新しい統合中学校も本校舎は大方が出来あがり、本年は第二期工事に入るのでありますが、これと併行して通学道路や橋を整備して通学に便利なようにすると共に、地域住民の便宜をはかりたいと思います。また、近年いちじるしく不衛生になって来ました河川で子どもも水泳させることはまことに危険であります。ぜひ水泳プールを作り衛生的な場所で水泳させたいと思いますので、よろしくご支援くださいますようお願いします。

農家の繁栄村の礎

加藤　清

年の瀬はあわただしく暮れました。新しい昭和45年は本当によい年であるよう念願します。なんといっても村民の向上が村政につながります。44年には中学校建設はじめ大事業がたくさんありましたが45年に残された仕事も見のがせません。またわが村は米作村です。農家が豊かになると商工業も豊かになりますが、残念ながら米価すえ置き・減反奨励いろいろと米作をしめ出そうとしています。農家が貧しくなると商工業も影響を受けます。幸い県は米作県わが東由利村も昔の本荘米の伝統をグングン伸ばしおいしい米作りに皆さまと共に協力を続けたいと存じております。村民各位のご多幸をお祈りします

意欲ある姿勢を

長谷山　千代蔵

一九七〇年の新春を寿ぎ申します。国政の動向は多端を極め社会の諸情勢も変革しますます複雑、国会は解散を導き年の瀬に国民の審判、年頭早々には新政権の誕生というスケジュール。解散は真に国民のものであることを念願したい

都市工業の成長は農村に過疎化を招き、歴史的な農政の転換は農村自治体の健全な進展を妨げる懸念もある。村行政の基盤も整備を急ぐ過程にあるが、正常を欠く課題と取り組む段階に迫った。この対応策としてまず住民一人一人が自己の生活環境をじっくり見つめ、意欲的な行動であってもらいたい。さらに農民唯一の産業団体の営農指導には特段の配慮をねがい三者一体の体制を痛感します。

村の新産業になう

梅津　二三雄

新産業のパイロットとして農業はいつの時代でも曲り角とか壁につきあたったとか、その危機を叫ばれてきたのであるが、今回の米作減反、休耕という政策ほど単作地帯農家に衝動を与えたことはないと思う。生産基盤の確立と経済力の培養のために行なった農業構造改善事業も、その成果をあげたことになっているが、中でも最有望と信じた養蚕は43年にはほぼ計画に近い結果を得、さらに期待した44年はまだ決算に至らないが、ばく大な赤字の出現になりそうである。桑園の未完成というほかに真の原因を探究し、組合員の志気を鼓舞し村の新産業のパイロットとしての役目をいかにして果すかが、今年の大きな課題の一つになりそうだ。

自らの開発

小松　豊

一九七〇年は大変問題の多い時代に入ります。その一つは農業問題であります。これは当村の直接の問題でもあり生活でもありますが、私たちは国の総合農政も期待しなければならないが何時の時代にも満足するような農政は決してないのです。私たちは毎日の生活の中で感じたことを、国の施策も期待しながら、いろいろのことを話合う、そんな会合を多く持ちたい。その中には米作の問題、畜産の問題、教育の問題、工場誘致の問題文化の問題などたくさんあるだろう。

こんなことをお互いに話合い、自らの生活を自らの考えによって、自分たちの村を話合いによって開発したいと存じます。皆さんと共に。

農協合併の要痛感

佐々木　宇一郎

村が合併後の特筆すべき大事業は統合中学校の誕生であり住民の認識の深さにより達せられたものである。ちょうど六・三制の新学制がしかれた昭和22年のころ、旧村どうしが組合中学校を建てようと議会で審議したものだったが〝地域感情〟のカベは破れなかった記憶がある。当時を想うとき時代の流れを今さらのように感じる。このほか44年には農業構造改善事業の完工、林構事業が着実に進捗、山村振興指定村の可能性が十分になったなどがある。新しい年には、これらを継続させると共に①公民館建設を前むきに検討②山振事業に土地基盤整備を織りこむ③農業行政上痛感している農協合併に取り組む年にしたい。

1米2企業3道路

小野　昭一

今年第一の課題は米に関する諸問題の解決である。総合農政において方向が示されるものと考えるが、それだけでは農業の生産性を高め、農家経済を向上させることにはならない。その受け入れ方に問題がある。村と農協の適切な対応策が必要である。第二は経済成長に即応する村民所得の増大について考えたい。企業誘致をふくめ商工業の振興を計り、これらの企業体に村民労働力のすべてが、完全就労できる態勢をつくりたい。もちろん労使協調の上、都市なみの賃金体系も確立する必要がある。第三は僻地性を解消するため、交通網の整備、道路とくに重要路線の早期改修に全力をつくしたい。

厳しい年に対処

嶽石　伊佐武郎

昭和45年の新春を迎え村民各位のご多幸を祈ります。今年は厳しい年になりそうです。政府ではわれわれ農村に対して米作調整をしろ・減反には三万—四万円の奨励金を出すという。しかし三、四年出してもらっても、その後はどうなるのか。私をとおした村民の要望の中には、村行政における諸体制の合理化・人間形成の上で大切な学校教育とくに小学校教育の方向・冬の消防問題・主要村道の整備促進・機械化農業ができるような土地基盤整備・税金を安く・畜産、林構の入り会い林の問題など。私は村民の意志を尊重して村政に対処したい考えです。みなさまのご協力お願いします。

ドシドシ使ってください

田代　寿治

議会も一年五か月を過ぎましたその間、はなはだ微力ではあるが一生懸命努力している次第です。

さまざまの政治的解決を要する問題はたくさんありますが、まず第一に何といってもボツメキ水源からの水道事業の促進であります。

このほかには社会教育の充実・村文化財の保護対策・ごみ処理場の設備・小学校の統合などに、ことしはその方向を見出すための大切な年であると自覚しております。

終りに村民ご一同様、よい年を迎えましょう。

水道は多年の要望

長谷山　喜市郎

洋々たる一九七〇年代の年頭にあたり過去の反省と回顧の上に平和を基調とした国政や県政の発展と共に、村政もこれに呼応して大飛躍の年である

ことをねがい、私も心を新たにして一層の精進をお誓いいたしたいと存じます。なにとぞ倍旧のご指導とご鞭撻をお願い申上げます。

昨年度に調査検討され、関係者各位のご協力とご理解をいただいた簡易水道事業は、ぜひ実施年度とし多年の要望をかなえて、生活の向上と消防施設の強化に資したい。教育行政について昨年度は統合中学校の建設など施設の充実を計られましたが、今年は小学校の統合問題と公民館と生活改善センターの建設問題を積極的に検討してみたい。

村農政に農家の声

小野　作右エ門

新年の課題は米の過剰に端を発する。農業「稲作」問題は極めてやかましいものがあり、米づくり農業には厳しすぎるほどの難題が山積みしているそこで米に対し政府が打ってくる政策の一番手は、米作地帯の将来の展望のもとで基盤整備や土地改良事業の通年施工・第二次農構事業・本村が明年度に指定される予定の山村振興事業による基盤整備。県では県営、県単、団体営など生産基盤事業再開発の道が打ちだされている——。村民農家のみなさんと共に、この米の難問題を受けて立ち、農家一人一人の世論を村農政に反映させるこそ、私たちの仕事、みなさんのご協力をお願いいたします。

村・農協ら三位一体

遠藤　兵一

いよいよ九七〇年代の一年目考えようでは躍進の年でもあります。生徒数の減少はさみしいが統合中学校建築も二年目、それにともなう通学道路の整備も地域関係者と共に期待できます。

小学校の統廃合も村民の世論と共に検討されるでしょう昨年誘致された工場も順調な経営を続け、月々百数十万円の賃金支払いと聞きます。

待望の水道も実現可能な年であります。農村経営の問題も村・農協・農民が一体となって基盤整備の推進を図り、経営の合理化、技術の向上により激動する農政問題に対処すべきと思います。ことしこそ希望の持てる豊かな村づくりに共に専念いたしたいと存じます。

基本構想の樹立を

長谷山　二郎

農業経済を主体とする本村にとって激変する農政が最大の課題である。長期安定した農政確立の実現を根幹として、次の課題に取り組みたい。

一、総合基本計画の策定

青年婦人をはじめ村民総参加のもとに、村のビジョンを策定したい。村の未来像は村民の未来像であり、村民にかぎりない勇気を与えると信ずる

二、農協合併の推進

行政と経済の結合が今ほど求められている時はない。真の村づくりのため、この合併を勇気を持って提起して行く。

公民館建設、統中の通学対策も目前の課題である。村民のための村政を目ざし今年もがんばります。存分に使ってください。

自からの手で村を

藤原　虎之助

激動の七〇年を迎え農業主体のわが村は今までのように、唯ただ国策のみに依存、あるいは追随しては曲り角の農業しかできない。昨年以来工場の進出によって、過剰労力の現金収入化は急速に進み、農工一体の姿を見るようになったまたことしは、老方バイパスも通り距離の短縮は生産と輸送を広域化、村の経済も変ることです。あまりに流動の激しい社会の変貌は遠い将来を見抜くことが困難です。この場合、国策にそいながらも、自からの手で村を開拓する気がまえで〝あなたまかせ〟の政治でなく、お互の対話に経済・文化・教育も今後の展望と共に村の立地条件を最高度に生かす村政にとりくみたい

救農の道しるべ

遠藤　正男

地球が太陽を一周することを一年というが、この宇宙の定めは永遠である。地球上の人間の生活もまた永遠に平和でありたいと思う。しかし私たちの生活は文化の向上?とはうらはらに、何かしら不安な毎日であり年々苦しくなる一方である。新年に意も新たな計画・勇気・融和の精神をやしないたい。故ケネディ大統領が自国民に訴えた中で、国は君たちに何をしてやればではなく、君たちが国をよくすることを考えなければと言っている。これはわが村にも通じることである。最近、農村の危機が叫ばれている。村政と農協のタイアップこそ村民を救える唯一の道しるべであり現二つの農協を一つにして農政は一つの窓口を望みたい。また産業の基幹をなす道路ほか郷土を開発するため自己を・社会を・文化を堀りおこして村の発展につくしたい。

本村農業の振興策

小松　与惣雄

農業基本法農政から七年今また総合農政という新しい施策が立案された。本村でも村内全耕地の規模拡大計画を策定し各々の地域を、構造改善土地改良事業、県単県営土地改良事業、山村振興土地改良事業団体営土地改良事業などの事業別に該当させ、その青写真を先ずつくりあげたい。

二、本村の農業後継者の育成について。

村の執行者である村長や議員が、どのような農政を考えているのか、次代を担う後継者とじっくり懇談の場をつくり、そうして村の〝ビジョン〟をつくることが当面の課題であると思いますので計画したい。

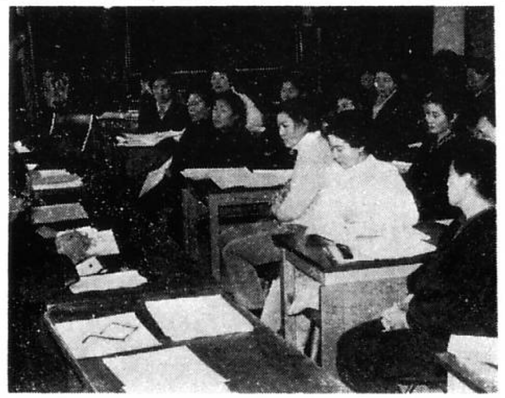
総合経済を考える

川尻　幾郎

新年おめでとうございます。安保だ沖縄だ七〇年だと言っているうち、いよいよ国会解散年末選挙と目まぐるしい六九年が過ぎ、昭和維新と言われる真の一九七〇年の夜あけを迎えた訳ですが、国政の一大転換期であると同時に、われわれ村民にとっては農村経済の転換期ではないかと考えます。過去、総合農政という言葉は、農家経営の一大指針として真剣に取り組み、また今後も推し進めて行く訳でありますが、私は七〇年を堺に農家経済というものをさらに一歩進めて、農工一体の総合経済を確立すべく新しいスタートラインに着く年になることを願い、皆さまと一緒に努力して参りたいと考えます。

消防出初め式

6日九時から蔵小学校前庭で行なわれる。



商店の良心買いたい

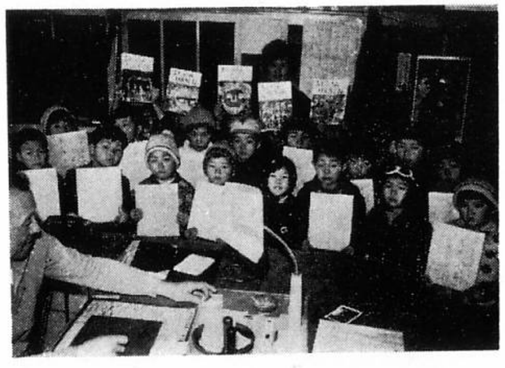
消費者懇で話合う

本村では初の消費者懇談会が12月9日役場二階で開かれた。

これには村内から約百二十人の婦人たちが参加村内一〇店の経営主たちと、消費者へのサービスが行きとどいているかなど、活発な意見が交わされた。

消費者の声を要約すると▼豆ふなど水ものは一個の目方が四〇〇㌘だったり四五〇㌘だったりまちまちだ。また衛生的にも水を取りかえるなど気をつかってほしい。▼景品つき大売出しのシーズンだが、あのような形式的なものよりも、私たちは商店の〝良心〟を買いたいのだ。▼消費者教育にもっと力を入れてほしい。▼鮮魚は昨日の入荷ものと、きょうの入荷ものに区別がない。▼価格と共にぜひ表示を。▼虫いり袋菓子を返しに行ったら渋い顔をしないように。▼消費者の苦情に耳を傾け商店を指導して行く窓口を商工会に設けてほしい。

【写真上、懇談会のもよう】



おとうさん元気でネ

住吉小でお手紙文集

本校では41年から出かせぎの父と家庭に取り組んできました。この文集によって親と子の信頼が高まり家族みんなでがんばって行く、心のつながりを育てたいと思っています。住吉小学校長の小野安治先生は、こう話しておきました。

12月のある日、全校のトップをきって二年生のお友だちが、近くの郵便局から〝おとうさん元気でネ〟〝八塩山の下にも春のくるのを待っています〟という子らと妻たちの切々の心を、いっぱいに載せたお手紙文集を送った。

【郵便局のおじさん早く届けてね。文集を送るお友だち】

たいと思います。年々出かせぎはふえ、あたりまえになってきました。この文集によって親と子の信頼が高まり家族みんなでがんばって行く、心のつながりを育てたいと思っています。住吉小学校長の小野安治先生は、こう話しておきました。

12月のある日、全校のトップをきって二年生のお友だちが、近くの郵便局から〝おとうさん元気でネ〟〝八塩山の下にも春のくるのを待っています〟という子らと妻たちの切々の心を、いっぱいに載せたお手紙文集を送った。

【郵便局のおじさん早く届けてね。文集を送るお友だち】